

連載 私の町はどんな町⑬

川越市(一)

川越は旧石器時代(三万年
前)からその歴史が始まる大
変古い土地です。

今から七、八千年前、古東
京湾は川越・上尾街道から南
の美田地帯(仙波付近)まで
海が入り込んでいて「貝塚橋
の当りに縄文式前期の竪穴住
居跡があり、集落が形成され
ていました。

川越は江戸時代初期までは
「河越」の字が使われていま
した。―何処から来ても川を
越さないと入れない土地―と
いうことから名づけられたと
の説があります。

桓武天皇の末裔で、平氏系
秩父党重綱の次男重隆が秩父
から河越の地に移転し、河越
氏を名乗り川越市上戸に館を
構えたのが「河越氏」の始ま
りです。

「河越館跡」は、現在入間
川に面した沖積地にあり、
「常楽寺」を中心に東西二〇
〇米南北二五〇米程の範囲が

国指定史跡となっています。

三代目の河越太郎重頼は、
「武蔵国留守所総検校職」と
して武蔵国内の中小武士団を
まとめる役として頼朝の信頼
厚く重鎮となりました。重頼
の妻は頼朝の乳母であった比
企尼の次女であり、頼朝の長
男頼家の乳母となっています。

しかし頼朝は不仲となった
義経の行動を監視する目的で
河越重頼の娘「良子」を自ら
媒酌人を務め、無理やりに義
経の下に嫁がせました。

そこから河越氏の悲劇が始
まります。義経の妻となった
良子は、義経の奥州逃避行に
同行し、平泉衣河館の持仏堂
で義経と幼い娘と共に自害し
非業の最期を遂げています。

更に頼朝と義経の不和が決
定的になると、頼朝の重頼に
対する態度も急変し、重頼は
義経の義父である(頼朝が押
しつけたのに)との理由で河
越の所領は没収され、長男の
重房と共に誅殺されてしま
いました。

河越重頼の墓は、蔵造り資
料館の北隣りにある「養寿院

の本堂の左奥にあります。養
寿院は一二四四年に重頼の曾
孫の経重が開祖で徳川幕府か
ら寺領一〇石の御朱印を賜る
古刹です。



河越太郎重頼の墓(養寿院本堂の左奥)

後に所領は、比企氏との関
係から一部重頼の妻に返却さ
れ、次男の重時と三男の重員
は許され、重員は五年後に四
十年前重頼が務めていた「武
蔵国留守所総検校職」に任命
され、この役職はその後河越
氏が代々世襲しています。

「河越氏」は、南北朝時代

の一三六八年足利幕府にそむ
き「平一揆」を起こし滅ぼさ
れ、歴史から姿を消してしま
いました。

「河越館」は河越氏の後、
上杉氏が六代、北条氏が四代
が主となり、その上杉と北条
の交替の時期に起きたのが有
名な「川越夜戦」(北条綱成
とその援軍八千が上杉朝定・
憲政と古河晴氏との連合軍八
万を打ち破った)です。

その後河越には豪族は現れ
ず、徳川家康の関東入部に伴
い「川越藩」がおかれ、川越
は江戸城の北辺の守りと、江
戸へ送り込む物資の集積地と
して重要視され、幕府の親藩
譜代の有力大名が配置され、
以後八氏二十一人の川越藩主
のうち老中は、酒井忠利、堀
田正盛、松平信綱、柳沢吉保
(大老格)、秋元喬知・涼朝、
松平康英、の七人もいます。
特に松平綱信は、城下町を
形成し、川越街道の整備、新
河岸川の開削、野火止の新田
開発等の実績があります。

(小島 次郎)

マンション大規模修繕工事なら
専門会社ラクシーにお任せください!

専門会社ならではの
ノウハウがあります😊

工事進捗情報サービス

- ホームページで工事の進捗状況を、リアルタイム配信!!
- ★IDとパスワードによる個人情報保護
- ★インターネットのつながる環境であれば全国どこでも24時間確認可能
- ★足場内の施工写真や工程表、お知らせを随時更新

<http://www.ruxy.co.jp/>

検索サイトで
「ラクシー」と
検索してください



国土交通大臣許可(特-16)第20636号
本社:千葉県松戸紙敷1009
東京営業所:東京都港区新橋4-25-6鈴山ビル2階
神奈川営業所:神奈川県横浜市西区楠町10-8

0120-552-028